メンテナンス情報：多数アンカー式補強土壁工法設計システム（GEO-MA2014）

| バージョン | 修正年月日 | No | コメント | | 対応 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 4.06.01 | 2022/07/19 | 35 | | 不具合に伴うプログラムの修正  ・水位線を考慮した円弧すべり計算において、補強土壁背面に地山が存在した場合、補強材による抵抗モーメントが正しく算出されない場合がある不具合を修正。 | 済 |
| 4.06.00 | 2020/06/05 | 34 | | 要望に伴うプログラムの修正  ・設計計算書の表紙に印字する日付について、西暦表示の初期値を令和に変更。 | 済 |
| 4.05.02 | 2017/08/07 | 33 | | 不具合に伴うプログラムの修正  ・β壁面材の使用判定をタイバー径を用いて判定を行う為、「内部安定-各部材の断面設計」入力画面において壁面材の使用判定を行う仕様に変更。 | 済 |
| 4.05.01 | 2016/12/05 | 32 | | 要望に伴うプログラムの修正  ・笠コンクリートの高さに1.3mより大きい値を入力した場合、設計計算書の設計条件において、「※原則として，最大 1.0m 程度とする。」の文言を追加。 | 済 |
| 4.05.00 | 2016/07/04 | 31 | | 要望に伴うプログラムの修正  ・設計計算書の出力において、Word非表示状態での出力機能を追加。  ・設計計算書の出力において、出力中の項目の確認用にメッセージ画面を追加。  ・内部安定の「補強材長の設計」入力画面において、第４版を選択した場合、設計補強材長を変更した補強材より下側の補強材に対して、設計補強材長が自動的に変更されない仕様に修正。第３版を選択した場合は、自動的に等長へ変更されます。  ・円弧すべり計算に用いる部材の許容引張力について、許容安全率の入力画面における「部材の許容引張力の割増し係数：λ」を考慮する仕様に変更。  **※この修正により以前のバージョンと結果が若干異なる場合がありますので、ご注意ください。** | 済 |
|  |  | 30 | | 不具合に伴うプログラムの修正  ・外的安定の背面土圧の作図について、主働土圧合力の値と矢印の方向が一致していない不具合を修正。  ・設計計算書の出力において、結果総括の外的安定検討の結果に検討していないケースの説明文が表示される不具合を修正。 | 済 |
| 4.04.00 | 2015/11/16 | 29 | 要望に伴うプログラムの修正  ・外的安定検討の壁面基礎の底面に作用する鉛直荷重の算出における、笠コンクリートの自重について、笠コンクリートの単位体積重量に任意の値を設定できる機能を追加。 | | 済 |
|  |  | 28 | 不具合に伴うプログラムの修正  ・壁面直下および重力式基礎の検討における、補強材による壁面に作用する鉛直土圧合力について、活荷重の載荷位置により入力画面における計算値と設計計算書における計算値が異なる場合がある不具合を修正。設計計算書に記載されていた値が正しい結果となります。 | | 済 |
| 4.03.02 | 2015/10/28 | 27 | 不具合に伴うプログラムの修正  ・円弧すべり計算において、荷重1の終点と荷重2の始点が同じ座標の場合、座標の背面に位置する土塊に対して、荷重1と荷重2の合計荷重を考慮してしまう不具合を修正。  **※この修正により以前のバージョンと結果が若干異なる場合がありますので、ご注意ください。** | | 済 |
| 4.03.01 | 2015/07/01 | 26 | 要望に伴うプログラムの修正  ・円弧すべり計算のポイント法の初期値を「上下の壁面材同士の目地部」に設定している為、最下段補強材がシングルコネクターの場合、ポイント法の初期値に含めない仕様に変更。 | | 済 |
|  |  | 25 | 要望に伴うプログラムの修正  ・円弧すべり計算のポイント法の初期値に、最上段補強材位置を追加。 | | 済 |
|  |  | 24 | 不具合に伴うプログラムの修正  ・壁高を1.000mとし補強材の配置を1段のみに設定した場合、外的安定の仮想背面が水平となってしまう不具合を修正。 | | 済 |
|  |  | 23 | 要望に伴うプログラムの修正  ・外部安定検討の仮想擁壁の自重の算出において、嵩上げ盛土の自重を1層目の嵩上げ盛土の単位体積重量で算出する仕様を、各段の単位体積重量を用いて算出する仕様に変更。  **※この修正により以前のバージョンと結果が若干異なる場合がありますので、ご注意ください。** | | 済 |
| 4.03.00 | 2015/05/14 | 22 | 不具合に伴うプログラムの修正  ・外部安定検討の仮想擁壁の自重の算出において、水位線による浮力考慮の選択条件に係わらず、仮想擁壁の自重に浮力を考慮する不具合を修正。 | | 済 |
|  |  | 21 | 要望に伴うプログラムの修正  ・笠コンクリートの高さについて、入力値が「1.000(m)」より大きい値の場合、文字を赤色にし、「1.300(m)」より大きい値の場合、背景を赤色にする仕様に変更。 | | 済 |
|  |  | 20 | 要望に伴うプログラムの修正  ・壁面材の上下は結合され補強材が取り付けられていることより、全体安定検討の円弧すべり計算において、壁面材の結合部分に結合位置における補強材の抵抗力を考慮するよう修正。  **※この修正により以前のバージョンと結果が若干異なる場合がありますので、ご注意ください。** | | 済 |
| 4.02.00 | 2015/04/13 | 19 | 要望に伴うプログラムの修正  ・円弧すべり計算のポイント法の初期値を壁前面に変更。 | | 済 |
|  |  | 18 | 要望に伴うプログラムの修正  ・設計マニュアルの正誤表より、仮想背面の仕様を変更。  **※この修正により以前のバージョンと結果が若干異なりますので、ご注意ください。** | | 済 |
|  |  | 17 | 要望に伴うプログラムの修正  ・内部安定の衝突時の検討において、防護柵基礎等の水平荷重を補強材敷設位置から補強材の分担範囲に係る荷重で算出する仕様に変更。 | | 済 |
|  |  | 16 | 不具合に伴うプログラムの修正  ・内部安定検討における壁面に作用する土圧について、補強材が土圧を受け持つ範囲に上載荷重の影響線と壁面との交点位置が含まれる場合、土圧を受け持つ範囲の上端から交点位置まで範囲に上載荷重を考慮してしまう不具合を修正。 | | 済 |
| 4.01.00 | 2015/02/23 | 15 | 要望に伴うプログラムの修正  ・設計基準に「第4版」を選択した場合の内部安定検討において、補強材の引張力が常時：75(kN/本)もしくは地震時：(112.5kN/本)を超えた場合、水平間隔を「0.500(m)」に変更し、γ壁面材を用いる仕様に修正。  **※この修正により以前のバージョンと結果が若干異なる場合がありますので、ご注意ください。** | | 済 |
|  |  | 14 | 要望に伴うプログラムの修正  ・内部安定検討のロックアンカーについて、許容値等の初期値を変更。 | | 済 |
|  |  | 13 | 要望に伴うプログラムの修正  ・外部安定検討の補強土壁直下の支持力検討において、許容支持力度を入力した場合、壁面直下の許容支持力度等に連動する仕様を追加。 | | 済 |
|  |  | 12 | 要望に伴うプログラムの修正  ・円弧すべり計算の設計計算書の出力設定について、「１次検索」および「２次検索」を行った場合、最小安全率のケース以外を「なし」にする仕様を削除。最小安全率のケースのみ「出力」に変更し、他のケースは維持する仕様に変更。 | | 済 |
|  |  | 11 | 要望に伴うプログラムの修正  ・円弧すべり計算の初期通過点の設定について、通過点数を15点から31点に変更。 | | 済 |
|  |  | 10 | 要望に伴うプログラムの修正  ・円弧すべり計算の格子中心座標について、基準点よりＸ＝-500(m),Ｙ＝500(m)のどちらかを超えた場合、追跡を行わない仕様を追加。 | | 済 |
|  |  | 9 | 不具合に伴うプログラムの修正  ・設計計算書の出力において、ディスプレイ等が大きくＷｏｒｄの出力中に、画面上に2ページ分並んで表示される場合、ページの表示が正しく行われない不具合を修正。 | | 済 |
|  |  | 8 | 不具合に伴うプログラムの修正  ・設計計算書の設計条件の出力において、壁面直下の根入れ長に正しい値が表示されない不具合を修正。 | | 済 |
|  |  | 7 | 不具合に伴うプログラムの修正  ・設計計算書の結果の総括の出力において、地震時を検討しない場合、壁面直下の地盤反力度が0で出力される不具合を修正。 | | 済 |
|  |  | 6 | 要望に伴うプログラムの修正  ・設計計算書の出力について、記号および文言をマニュアルに沿った形式に修正。 | | 済 |
| 4.00.02 | 2014/12/11 | 5 | 要望に伴うプログラムの修正  ・笠コンクリートの高さ（Ｈk）を１ｍ以下の制限を設けているが、Ｈkに入力した値から支柱式防護柵基礎の高さ（Ｈ4）を差し引いた値が１ｍ以下となる制限の仕様を変更。 | | 済 |
|  |  | 4 | 不具合に伴うプログラムの修正  ・設計基準に第3版を選択した場合の内部安定検討において、水平間隔およびアンカープレート規格の初期値が満足していない値を設定してしまう不具合を修正。 | | 済 |
| 4.00.01 | 2014/12/01 | 3 | 不具合に伴うプログラムの修正  ・設計基準に第3版を選択した場合にも、設計補強材長の算出に構造細目が考慮される不具合を修正。 | | 済 |
|  |  | 2 | 要望に伴うプログラムの修正  ・外的安定の仮想背面の形状について、最上段と最下段の補強材後端を結んだ直線とし、仮想背面の形状および補強材長を変更した場合、補強材長を仮想背面まで自動的に延長するよう修正。 | | 済 |
| 4.00.00 | 2014/11/12 | 1 | 「多数アンカー式補強土壁工法設計・施工マニュアル　第4版」に基づいた、「多数アンカー式補強土壁工法設計システム（GEO-MA2014）」をリリース。 | | 済 |